

子ども服JIS 啓発プレゼン シナリオ(ママ友編)

①B: マユちゃんのママ、こんにちは

A: こんにちは、〇〇さん

B: みなさんお元気？マユちゃんは何歳になったの？

②A: これをみて、5歳よ！

B: かわいいね！！でもこの服どうしたの？

A: おばあちゃんに買ってもらったの…それが、どうかしたの？変？

③B: このフードとヒモ！危ないよ。首にかかって締まるかも

A: えっ！どうして？？考えすぎ何じゃない！

④B: ごめんね！首に付いているヒモが滑り台に引っかかって窒息することがあるんだって。

A: ホントー？可愛いのに！！アブナイならやめようかしら。でもどうして？

⑤B: 新聞に「フード・ヒモ引っかかる事故相次ぐ」て出てたわ

そうしたら反響がいっぱいあったんだって

例えば:

⑥ ・上着やズボンの裾のヒモが自転車のタイヤに巻き込まれた とか

⑦ ・上着やズボンのヒモが乗り物のドアやエレベーターの扉に挟まれた ことがあったみたい

A: 子ども服の事故はこわいね！首の周りは命に係るときもあるわね

⑧B: それで「子ども服の安全規格を求める声」が大きくなってJIS規格ができたんだって！

A: そうなの～、でも 子ども服の安全規格？規格ってなあに？法律とは違うの？

⑨B: 規格というのは、生活を安全に便利にする約束事よ。例えば電池の大きさを単一とか単三とかあるでしょ

A: なるほど！電池の大きさがバラバラだと不便よね。

でも、子ども服の安全規格ができたら、ヒモやフードがついた服は禁止になるの？お店からもなくなっちゃうの？

それだと安全ばかりで可愛い服が無くなってしまふ…

⑩B: “絶対に作っちゃいけない”という訳じゃないんだけど、子どもの安全のための規格だからみんなで守っていくことが大切なのよ！規格を守った製品が作られ、私たちがそれを買うようにしないとね。

⑪A: 私たち今まで子どもの服を選ぶとき…どうだったかなあ？

まずデザイン！似合うとか、可愛いとか。あと素材。そしてやっぱり値段。

安全のことなんか考えたことなかった。

B: 私も安いのが一番だったわ。

フードやヒモがどこかに引っかかって危険！！なんて考えたこともなかった。

⑫A: そうよね、事故にあう人なんて注意が足りないんだ！そう思っていたけど。

B: ヒモは規格ができたけど、フードはまだなのよ… 服にも気を配らないと！

マユちゃんが元気で成長するためにも、安全な服を選ぼうね

引っかかり易いヒモが付いてないか、、それに、フードもホックなどで外せるデザインもあるわよ。

A: でも可愛いのも着せたいわ

⑬B: 大丈夫、日本のメーカーは優秀だから。きっと規格を守って可愛くて良い服を作ってくれるよ！

A: そうしたら、規格に合った安全で可愛い服を選ぶわ！それでもう安心よね。

B: でも、絶対に安全と思うのは危ないよ！危険はどこにでも隠れているよ！

A: そうね、子どもの安全を守ろうって気持ちが一番大切なことね！

B: このことは、みんなにも教えてあげてね！

以上